

## 審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	令和4年度 第5回甲州市未来会議
開催日時	令和5年3月6日(月) 午後7時から午後9時30分
開催場所	ZOOMによるオンライン会議
議題	1 令和5年度主要事業について 2 最終提言(報告書)のまとめについて
出席委員	雨宮智信委員、雨宮康順委員、内田亜由美委員、小鳥居正恵委員、近藤巴委員、宿澤和也委員、松山典嗣委員、 (五十音順)
会議の公開又は非公開の区分	非公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	委員がより自由な発言をしやすいするため
傍聴人の数	—
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る事項	出席者 政策秘書課3名(林リーダー、三森、宮川)
その他	

令和4年度 第5回 甲州市未来会議議事録 (開催日 令和5年3月6日)

<p>内容</p> <p>1 開会あいさつ</p> <p>2 座長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 令和5年度主要事業について</p> <p>(2) 最終提言(報告書)のまとめについて</p>	<p>次第に基づき以下のとおり進められた。</p> <p>●事務局(林) 開会あいさつ</p> <p>●宿澤座長あいさつ</p> <p>●宿澤座長 事務局より未来会議短期提言書内容に関連する市の令和5年度主要事業について事前に資料提供があった。それに対して委員より質問や意見が出ているので、これに対して事務局より回答を求める。</p> <p>●事務局(林) 委員からの質問、意見に対して事務局から回答、説明を行う。</p> <p>●宿澤座長 続いて最終提言書の内容について詰めていきたいが、市の政策を確認する中で尖った政策がないと感じた。尖っていかないと甲州市への移住、出産、子育てなども考えることは出来ないと感じた。何が出来るかということをしっかりかみ砕いて考えていかないと発展していかないと思う。先ほどの主要事業を見ても他市でも展開しているような施策ばかりの印象である。市の独自性、尖っている部分を打ち出していけるよう短期提言書内に記載したつもりだったが、まだまだ反映されていないと感じる部分も多い。</p> <p>まとめの段階に入っているので、市の主要事業を修正していくというものではないが、今まで広げてきた大風呂敷をしっかりと畳めるように本日の議事を進めていきたい。限られた時間ではあるが各委員からの発言時間を設けるので、補足質問や全体を通しての意見でも良いので各自考えている事を述べていただきたい。</p> <p>●内田委員 大日影トンネル遊歩道は、整備後は無料開放するのか、それとも収益性を考えているのか。</p> <p>●宿澤座長 要望等があって再開の判断に至ったのか。そのあたりの補足も踏まえて事務局の回答を求める。</p> <p>●事務局(林) 平成28年の閉鎖以降、7年近く経過しており、実際に開けて欲しいとの要望があったと聞いている。閉鎖中の漏水確認、点検、停電時のバックアップ電源の管理等をどのようにしていたのかを把握していないが、もしかするとそういった設備等も使えなくなっている可能性が高く、また深沢側の管理事務所やぶどうの丘に接続されているトンネル入口の監視カメラ等も</p>
---	--

再設置する必要があるのかもしれないと考えている。そういった要因もあり、整備費用が膨らんでいる可能性が考えられる。

また元々この大日影トンネル遊歩道は、道路法の道路でもなく、道路交通法上のトンネルでもなく、建築基準法の建築物でもないので、いわば生粋の観光施設である。各法令が当てはまらないため、万全を期すためにしっかり対策を講じざるを得ないこともあり、予算が大きくなってしまう部分もあると思われる。特に安全上の問題で閉鎖した施設なので、再開する際には安全がしっかり担保されていないと対外的な説明も難しいと考えている。

維持管理費については、整備した当時は2年に1回のレンガ剥離状況等の点検が必要という事を想定していたが、法的な基準がないのでどういう点検をするかは自主基準、自主判断になる。当時はトンネル内に数カ所ピンを打ち、経年劣化によるピンの位置のゆがみが発生しないか、また高所作業車で打音調査を行っていた。2年に1回の点検というのはJRの当時のレンガトンネル点検の運用に沿った形での判断である。

入場料徴収については徴収のための経費がかかるため、また、多くの方に訪れていただきたいため、無料での再開を考えている。

●内田委員 見切り発車感も否めないが、個人的にも興味があり行ってみたい場所である。とても魅力的なコンテンツで外国人にも注目される場所であると思う。安全性の担保の観点から維持管理費が多くかかるのであれば、それは市で負担するのではなく、入場者から徴収して良いと思う。

もう一つ意見がある。上条集落に移住したくて物件を購入した方がいるが、水道の供給が不安定であり、ライフラインが十分に整っていないため2年間手付かずのまま住めていないような状態である。10年後は地域でライフラインを支えていくことは難しいと思う。これは上条集落だけではなく、市内の多くの地域に当てはまることだと思うのでぜひ意見として入れられると良いと思う。

●事務局(林) ライフラインの問題は市内の多くの地域に該当することだと思うが、特に神金地域のように地域の水道を使っているところは大きい問題だと認識している。当然市の上下水道設備も老朽化してきている中で、先ほどの大日影トンネル遊歩道は外から来られた方に負担してもらえばという話であったが、ライフラインは市民にご負担をお願いするものになるので、どの程度までご負担いただき、どの程度の施設、設備を維持していくのか、しっかり課題として向き合っていくべきと考えている。この点について、上条集落の事例も絡めながらご意見として入れさせていただければと考えている。

●近藤委員 大日影トンネル遊歩道については、菱山で地元ということもあ

り、電車好きの息子に話をしたらすごく喜んでいて。そういった喜ぶ子どももいるし、松山委員が以前おっしゃっていたエヴァンゲリオンとのコラボなど、一定のコアなファンの方を取り込めるような施策も展開して入場料を徴収しても良いと思う。ただ勝沼ぶどう郷駅は駅前にお店が何もなく、お土産を購入するようなどころもなく、観光導線がぱっとしない印象であるので、そのあたりの改善も必要だと感じている。

また、市はやっていることをしっかり発信できていないと感じている。ワーケーションの取り組みもやっているのであればもっと積極的に発信すべきで、シェアオフィス甲州もとても良いところだが発信できていないのがとても勿体なく感じる。

●事務局（林） ワーケーション、シェアオフィスの発信方法、広げていく方法については様々な手法があると思うが、いずれにおいても粘り強く発信していく必要があると感じている。

大日影トンネル遊歩道については、近代産業化遺産としてオープンし、レンガトンネルが現存しているのはとても貴重で珍しいものなので、貴重な鉄道遺産を後世にしっかり残していきたいという想いで整備した経過がある。また過去にトロッコを走らせたい等の提案もあったが、それは鉄道遺産の趣旨に合わないということでお断りしたこともあった。再整備するのであれば、エヴァンゲリオンの話もあったが、市としてももう少し柔軟に対応していく必要があるのかなと感じている。

●近藤委員 同じような鉄道遺産で、群馬県の碓氷峠のめがね橋があるが、そこも遊歩道が整備されており、途中からはトロッコ電車で横川駅まで下りてくるといようなつくりになっていたので参考になる部分があると思う。碓氷峠は紅葉時に観光客で賑わう印象だが、勝沼ぶどう郷駅は桜のシーズンもあるので、そういったものと絡めていけると良いと思う。

●松山委員 一市民として私自身にも責任があると思うが、対話や心理的安全性の地づくりをしなければ、いくら種を撒いても結果に繋がらないと思う。

その上で最近感じたのは、「甲州桜フェスタ」のチラシを見た際に、これは何が目的なのかよく意味がわからなかった。チラシを見ただけで職員がやらされているのかなと感じてしまった。やること自体を否定するわけではなく、当日も人は沢山来ると思うが、イベント自体にメッセージ性が感じられない。だから甲州市でやる必要もないと思ってしまう。

それぞれの団体がそれぞれの目標に向かって個々に動いている印象があり、横のつながりが感じられない。甲州市観光商工振興協議会がやっているようだが、例えばごみをゼロにするとか、環境にも優しいリユース食器を使用すると

か、アフターコロナ等を見据えたメッセージ性のあるイベントに出来れば良かったのではないかと思います。ただ人が集まって花火打ち上げておしまいでは、後々のことを考えるとどうなのだろうと思ってしまいます。主催者側もやっていて楽しいという気持ちがあればチラシの内容にもっと表われてくると思う。

●宿澤座長 「桜フェスタ」については私自身市長と話をしたことがある。「ぶどう祭り」が収穫に感謝する祭りであれば、「桜フェスタ」は豊作を願う祭りにしたらどうか、それによって塩山と勝沼の架け橋にもなるような良い祭りになるのではないかという話をしたことがある。

●小鳥居委員 私も「桜フェスタ」について市長と話をしたことがある。桜は日本全国にたくさんあるので、わざわざ桜を見に甲州市には来ないと思う。甲州市らしさを活かして桃の花の時期に「桃の花まつり」をやった方がオンラインで良いと提案したことがある。

●近藤委員 新宿アルタ等で広告をしているのを SNS で見かけた。「桜フェスタ」がどの程度の予算感で動いているのか気になるところである。

●事務局（林） 令和4年度事業であるため、配布した主要事業一覧に掲載されておらず、手持ち資料では予算が確認できないが、委員の皆さんの意見も活かしながら今後のイベント企画に繋げていければと考えている。

●雨宮智信委員 都市計画について、各課の連動性がなく、各課が予算を通すために作ってきた予算であり、予算のための予算で協議をしている。税金から賄っているという意識もなく、その結果も検証されておらず、結局、検証検討したとしてもそのまま継続されているものが多いと思う。来年度デジタル田園都市国家構想総合戦略になるのであれば、それは計画を作り直すチャンスになると思うが、結局国に準じたものにしてしまうと何にもならない。市はいつも国のせいにして自分事にしない傾向がある。

大日影トンネル遊歩道についても整備費をかけるのであれば、それがどこにどう繋がるか、例えば子どもたちにとって楽しい場所であるならば、徹底的に楽しいを追及し、みんなが集まる場所につくりあげていく。そのプランニングやお金を使い方がなされていないのが全体的な印象である。

また都市計画やビジョン、未来へのワクワク感が一切ない穴ふさぎ予算的な印象を受けてしまった。これから未来へ繋げていくためには人がいないとどうしようもないということを2年間言い続けてきたが、「桜フェスタ」にしてもそうだが何も反映されない絶望感、無力感がある。このまま会議が終わると自分たちは何も言わなくなるか、悪口を言うだけのスピーカーになってしまう可

能性があるのですがごく怖さを感じている。未来会議が解散した後、これからの甲州市がとても心配である。

●宿澤座長 私たち委員から市役所への「NO」の意思が事務局側にも伝わっていると思う。デジタル田園都市国家構想総合戦略を策定するにあたり委員を募るようであれば、そういった部分も踏まえてその方たちと未来について語っていただきたい。

●小鳥居委員 令和 5 年度主要事業一覧を確認したが腑に落ちない部分が多くある。短期提言書の内容と繋がっているのか、無理やり繋げたのではないかという感じもある。宿澤座長が先ほど甲州市らしいはずば抜けた何かがないという話があったが、まさにそのとおりだと感じた。

郷土愛を深めることについて関連することが見えないし、シェアオフィス甲州もただ PR するだけ、短期提言 8 に関連する事業として「市民提案型協働のまちづくり支援制度事業」があるが、それに対して委員からの意見がないのは、私達がこれだけの提言を提出しても何も採用されないからだと思う。批判するようで申し訳ないがとても寂しい気持ちである。

●宿澤座長 意見シートに記入しなかった方もいるが、まさに小鳥居委員のような気持ちで書かなかったものと推測している。私自身も意見シートに書いても採用されないから書く必要がないと思い書かなかった。

●雨宮康順委員 この未来会議について賛否ある。今日の議論やこれまでの会議を通じて新しい学びを得た事は自分の財産になっているが、やはりどこか残念だという気持ちが大きい。

令和 3 年 5 月に鈴木市長より委嘱された際にはパワーも十分にみなぎっていたが、段々とパワーダウンしてきてしまった。パワーダウンしてきた自分にも情けなく、また他の委員に対しても失礼だと思っている。短期提言書作成も含めてこれまで一生懸命やってきて、今回長期提言書をまとめてくださいという話であれば真摯に受け止めて最後まで全うしたい気持ちもある。ただいつもの自分であれば意見シートに記入するが、先ほど座長がおっしゃられたように施策に反映されないということが本当に残念でならない。

●宿澤座長 本日欠席されている武井委員、渡邊委員を含め、誰一人やりきったという感覚はないと思っている。これまで出てきた意見は市の課題として受け止めていただき、今後は市民の声を拾い上げようとか簡単に言わない方が良いと思う。市民と対話するとか関係性を築くとか、軽く受け止めて何かやれば良いというのは排除してもらって欲しいと思う。

「桜フェスタ」や大日影トンネル遊歩道は議論に出たが、同じようなことが全てに通ずるとするのが市の現状だと思うので、皆が納得する、皆が甲州市に住んで良かったという政策でない次に繋がっていかないと思う。

短期提言書の8番をもっと色濃くしたいという気持ちもあるが、正直もう疲れたという気持ちもある。

●雨宮智信委員 意見シートには記入していなかったが、デマンドバスについてはしっかり考えていただきたいと思う。この部分は削ってはいけないと思うし、これからの在り方の議論や運行方法についても少し工夫をすれば上手に出来ると思う。また地域の繋がりを使ってという委員からの意見も過去にあった。甲斐市のようにコストパフォーマンスを上げるためにAIでルートを決めているところもあるので、甲州市もチャレンジしていくことが必要だと思う。そういう議論も足りないと思う。

●雨宮康順委員 提言書については、長期提言書として再度まとめて提出する認識で良いのか。着地点をどのように捉えておけば良いか確認したい。

●事務局（林） 事務局としては、短期提言書作成に倣って、雨宮康順委員を中心に長期提言書をまとめていただく方向で考えていた。

前回会議でもお示ししたが、短期提言書に対する令和5年度主要事業を財政課が主体的に資料にまとめてくれた。それに対して本日委員の皆様よりご意見をいただいたので、短期提言書にそれらを書き足したものが長期提言書になるものとイメージしている。

●雨宮康順委員 短期提言書が無駄にならないければ良いと考えている。短期提言書は全課長、全職員に情報提供いただいたと聞いているが、それが十分活かされなかった。そうなると作っても意味がないと思う。一部の課長からはリアクションがあったと聞いたが、それ以外の課長からはリアクションがなかったということでとてもショックだった。

提言に対して各課から必ず3つ感想を出してくださいとか、そういったものがあればやりがいも少し見いだせるが、また同じことをされるのであれば協力はするが前向きな気持ちでは向き合えない。

●事務局（林） 短期提言書の内容を具現化、事業化した課もあれば、具現化はしていないけれども参考にした課はいくつかあると捉えている。また主要事業一覧のように財政課でも短期提言書の内容を受け止めて主体的に動いてくれた課もあるので、まだリアクションに物足りなさを感じられている部分もあるかとは思いますが、事務局側からすると一つ良いきっかけになったと感じてい

る。前回の会議で雨宮智信委員から爪痕を残せなかったというご意見もいただいたが、決してそうではないと考えている。これまで会議を複数回重ねてきているので、しっかり形に残していければと考えている。

●雨宮康順委員 提言書を作ることは作ります。最終的にいつまでに作らなければならないのか、そしてそれがどう活用されるのか、そういった部分も含めて教えていただきたい。前回のように職員に配布しても見ないと思う。各課で意見等をまとめていただき、それをフィードバックしてもらおう。それでこの未来会議も気持ちよく解散という流れが良いのではないかと考えている。

●事務局（林） 職員の未来会議からの提言に対する反応、感じ方には濃淡が出てしまう部分があるが、その後どのように活かされたかは追々形となって出てくるものだと思う。スケジュールについては委員の任期が3月末までとなっているので、今月中にはまとめていきたいと考えている。

●小鳥居委員 長期提言書を3月中にまとめるという話が突然出てきて驚いている。まとめようと思っても時間的にまとまらないと思うが、長期提言書は作らなければならないのか。

●事務局（林） 前回の会議及び前々から話をさせていただいているが、スケジュールに変更はない。ただ、短期提言書が非常に作りこまれた内容となっており、これをさらにブラッシュアップするのは難しい部分もあると思う。短期提言書を昨年9月に提出いただいたのは、新年度予算に活かすためだったが、それに対しての答えが財政課の出してくれた主要事業一覧に記載されている。これに対して委員の皆様から出していただいたご意見等を付け加えて最終提言、最終報告としていくのが良いのではないかと考えている。

繰り返しになるが、9月以降会議も重ねてきており、その足跡を残すためにも何か形として残しておきたいと考えている。

●宿澤座長 前回の会議で今日を含めて2回開催することになったのは、意見シートを記入後に会議を開催して、それに対して市長名で、実際には市長でなく副市長でも誰でも良いので市からの最終アンサーを一筆書いてほしいというのが私の考えであり、それでこの会議をキリにしようというのが前回の私の会議での発言だった。その最終アンサーを次回の会議で確認し、互いによくやると労えれば良いと考えている。

私自身としては、短期提言書の中で長期提言に関することも謳っているのですが、長期提言書は必要ないかなと考えていた部分もあるが、体裁を整える意味で必要であればそれは作るのかなと考えている。

●雨宮智信委員 短期提言書は雨宮康順委員と私で作成したが、内容的には中長期提言のような内容となっている。ただ市長が欲しかったのは短期提言だったのかもしれないと感じている。長期提言書を作るなら原則このままで長期的な一言を加えるか、これを基にしてこんな甲州市になって欲しいという一文を皆で考えて挿入すれば良いと思う。正直3月ほどの委員も忙しいと思うので、あまり難しい長期提言書の作り込みはスケジュール的にも困難だと思う。短期提言書作成にもかなりのエネルギーを使って疲れたし、市長からのアンサーもない、それでいて職員に提言を見てももらえない、理解してもらえないとなればそれこそ残念な気持ちしかない。学習の無力感がある。

ただ愚痴ではなく、何か残したいなという気持ちもずっとある。実は私は未来会議皆勤賞である。事務局を交えて会議をするなかで、もしかしたら市が変わるかもしれないと期待した。ただ、私自身期待しすぎたのかなと思う。職員全員が変わっていくのはなかなか難しいというのがあった。最後に集まる機会があれば、市役所はさておき、自分たちで何か出来ることはないか考えられれば良いと思っている。

長期提言書については、短期提言書作成にあたって何度も会議を重ねて委員の意見も濃く書かれているので、その内容に変更を加える必要はないと思う。みんなに負担がない程度に、でも甲州市が諦めないで前に向かっていくような、市民の方も読まれるかもしれないので前向きな1ページ以内のメッセージがあって、市長もそれに応えてくれる形で未来会議全体を閉じられれば良いと思う。

●事務局（林） 宿澤座長が言われたとおり、短期提言書内に長期提言についても1ページ記載されており、「未来会議からの提言書」と位置付けておけば、そのまま長期提言書としても十分使えたのかなと今となれば感じている。委員の皆様には大きな負担をお掛けするわけにもいかないので、これまでの意見を勘案し、最終的なご意見をまとめたものを挿入して長期提言書とする形で進めていければと考えている。

また先ほど宿澤座長より市長名で最終アンサーをという話があったが、どのようなイメージか。

●宿澤座長 私達は鈴木市長に委嘱され、会議を重ね、提言書を提出しているので、それに対して市長名でリアクションするのが筋だと思う。

●事務局（林） それであれば市長へ実績報告も踏まえてコメントをもらい、それを事務局でまとめたものを23日頃に提示させていただく形で対応したいと考えている。また委員の方から意見やメッセージをまとめたものを23日よ

り先にいただくという認識で良いか。

●宿澤座長 今日会議を終えて、それに対して市長からアンサーをもらう。それに対して私自身では書けないですが必要に応じて提言書にメッセージを添えて任期を終えるイメージである。

●雨宮智信委員 未来会議自体は終了する方向で決まっているので、あまりここで粘っても仕方がない。私たちとすれば短期提言書が十分内容の濃いものになった。みんなで将来についても考えることが出来たという証明にもなるし、また次回こういった会議があった時には未来会議ではこんな議論を行ってここまで進んだという記録にもなる。事務局として苦慮された部分も含めてこれを継承していただきたいと考えている。大変苦勞したからもうやらない方が良いというのではなく、どういう形であればもっと良くできたか話をしていただきたいし、そういった提言をしたかった。

隅を突くのではなく、もっと甲州市の良い所、ストロングポイントを出しあって、それを基にしたプランニングが出来て、市民が協働したお祭りとかが開催出来れば、いろいろな方と出会うきっかけにもなるし、この会議を失敗で終わらせない、もっと面白い形に繋がっていくと思う。

松山委員もおっしゃっていましたが、土があっても種がないと始まらないので、この会議の経験をぜひ種にさせていただきたいと思う。プラスに捉えて、次に次という前向きなイメージで次回会議では皆さんとお会いできればと思う。

●事務局(林) オンライン開催を含め様々な手法で会議や議論を重ねてきた。回数ももちろんだが、内容的にも濃く議論させていただき、私としては今回の会議は決して失敗ではないと捉えている。事務局以外の職員にも少しずつ変化が出てくると思うし、実際今回のように財政課も興味、関心を持ってきているので、種は確実に撒かれ、育ってきていると感じている。今後も様々な市民の方と関わり、会議を開催することもあると思うので、この未来会議を通じて勉強になる部分がすごく大きかったと感じている。短期提言書は内容の濃いものをいただいているので、これが長期提言も兼ねているということで、皆様にもご理解をいただいて、市のほうに報告をさせていただく。そのうえで市長からのアンサーを届けることにする。

●宿澤座長

会議自体はこれが最終となる。これで本日の会議を終了させていただく。

●事務局(林) 特になし。

5 閉会あいさつ

●事務局（林） 閉会あいさつ